

ヘアブリーチ剤の発熱現象

事故概要

この事案は、美容室にて発生したもので、火災には至っていませんが収納棚に置かれていた脱色剤（ヘアブリーチ剤）が発熱・発煙し、消防車が出動することとなったものです。

なお、建物内にも被害はなく、けが人も発生していません。

原因概要

事故原因は、使用途中の脱色剤（ヘアブリーチ剤・粉末）を数年間使用せずに湿度及び温度変化の影響を受けやすいところに保管していたことから、時間経過に伴い脱色剤（ヘアブリーチ剤・粉末）の成分に含まれる過硫酸塩（過硫酸ナトリウム等の酸化剤）が、湿気等の水分によって化学反応を起こし、酸化が促進されて発熱・発煙に至ったものでした。



収納棚の保管状況



容器内の状況

類似事故の防止対策

製造販売会社によると、出来るだけ外気や高温多湿となる所を避け冷暗所などで保管することと、開封後は6カ月以内に使い切ってくださいとのことです。

同様の事案については、東京や大阪などでも報告されています。

利用者にとっては、長期間使用せずに放置している脱色剤がないかを確認すると共に、再度、製品に同封されている説明書の注意事項をよく読み、事故防止に努めてください。

今回の製品は、業務用に販売された物ですが、脱色剤は一般用にも多く販売されており、今回同様、条件が整えば、発熱・発煙し、場合によっては、火傷や気分不良など体に害を及ぼす可能性が十分考えられますので、業務用の物ではないから大丈夫とは考えず、少量の物でも取扱いには注意して下さい。

…**火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。**…

